

## 平成29年度 稲麦二毛作現地検討会開催要領

### 1 目的

水田を活用して国産粗飼料を確保するためには、飼料用稲の作付拡大と併せ、水田裏を利用した飼料作物作付による水田フル活用型飼料生産体系を確立・普及することが緊急の課題となっています。

この取り組みを推進するためには、飼料用稲栽培の大きな担い手である耕種農家取り組み易い飼料用麦と組み合わせた飼料用稲麦二毛作体系の確立が極めて有効です。

このため、当協会では裏作利用が可能な地域の水田において、飼料用稲麦の品種の組合せ、麦立毛間V溝直播、エンバクの不耕起播種等の各種技術を導入した飼料用稲麦二毛作体系を実規模で実証し、その普及を図っているところです。

本現地検討会では、水田裏作を活用した飼料用麦類栽培の有効性、単収向上に直結する品種選定・肥培管理技術、エンバクの品種選定、宮崎県児湯郡川南町で実施している実証試験の成果及びエンバクの不耕起播種実演を畜産及び耕種等関係者に紹介し、低コスト・多収生産の飼料用稲麦二毛作栽培の拡大に資することといたします。

### 2 開催日時

平成29年12月13日(水)

13時00分～16時50分(受付12:00～)

### 3 開催場所(来場方法等は参考をご覧ください。)

(1) 検討会：宮崎県立農業大学校農業総合研修センター

住所；〒884-0005 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田 5732 電話；0983-23-7447

(2) 現地調査：宮崎県立農業大学校圃場(15:50～16:50)

住所；〒884-0005 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田 5732

グレートプレーンズを利用した「エンバク」種子の不耕起播種の実演を致します。

### 4 検討会の内容

(1) 飼料用稲の裏作を活用した飼料用麦類の導入及び利用について(13:05～13:55)

一般社団法人 日本草地畜産種子協会

飼料稲アドバイザー

吉田 宣夫

(2) 稲麦二毛作栽培における品種選定と肥培管理について(13:55～14:35)

国立研究開発法人農研機構 中央農業研究センター

土壌肥料研究領域(耕畜連携)

草 佳那子 氏

(3) 宮崎県におけるエンバク品種の選定について(14:35～15:05)

宮崎県畜産試験場酪農飼料部 主任技師

高橋 奈津美 氏

～休憩 15:05～15:15～

(4) 話題提供(15:15～15:25)

① 稲麦二毛作実証試験の成果について(川南実証試験地)(15:15～15:25)

一般社団法人 日本草地畜産種子協会 種子部主幹

矢崎 聖二

② 飼料用イネ種子の販売について(15:25～15:35)

一般社団法人 日本草地畜産種子協会 種子部主幹

山淵 泰

### 5 参集範囲

畜産農家、耕種農家、農政局、市町村、農協連及び農協、各県畜産主務課及び農業改良主務課  
各県振興局、農業改良普及センター、コントラクター等関係者、マスコミ関係者等

### 6 主催

一般社団法人日本草地畜産種子協会

### 7 その他

検討会への参加は別紙1の参加申込書に必要事項を記入の上、平成29年12月7日(木曜日)までに、一般社団法人 日本草地畜産種子協会種子部矢崎あてファックス又はメール等でお申し込みください。

別紙 1

平成 29 年度 稲麦二毛作現地検討会参加申込書

平成 29 年 1 2 月 1 3 日 (水) 開催

氏 名	所属又は職業	連絡先 (電話、FAX又はE-Mail)	会場までの移動方法		現地調査 (帰りのバス利用)	
			① 高鍋駅から借り 上げバスを利用 される方	② 公用車等で来場 される方	③ 現地→会場	④ 現地→JR高鍋駅

- ① J R 高鍋駅から借り上げバスを利用して来場される方は、上記①の欄に○印をご記入下さい。
- ② 公用車等で会場 (宮崎県立農業大学校農業総合研修センター) へ来場される方は、上記②の欄に○印をご記入下さい。
- ③ 現地調査終了後、現地調査先から会場まで借りあげバスを利用される方は、上記③の欄に○印をご記入下さい。
- ④ 現地調査終了後、現地調査先から J R 高鍋駅まで借りあげバスを利用される方は、上記④の欄に○印をご記入下さい。
- \* 現地研修会圃場への自家用車等での移動は、駐車場所が無いためご遠慮下さい。

ご不明の点ございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

申し込み期限：平成 29 年 1 2 月 7 日 (木)

申込先：FAX、郵送又はEメールで下記へお申込み下さい。

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 8 アセント神田紺屋町ビル 4 階

一般社団法人日本草地畜産種子協会 種子部主幹 矢崎 聖二

**FAX: 03-3251-6507、TEL: 03-3251-6501、E-mail: yazaki@souti-fsa.or.jp**

## 参考

### 1 宮崎県立農業大学校農業総合研修センターへの来場方法等について

#### 1) 電車を利用し来場される方

①日豊本線 J R 高鍋駅で下車してください。事務局が借り上げたバス（アイ観光バス株式会社）で高鍋駅から、会場である宮崎県立農業大学校農業総合研修センターまで移動します。なお、日豊本線は台風 18 号の被害を受け現在臼杵～佐伯間が不通になっておりますので、大分方面から参加される方はパシフィックライナーで J R 宮崎駅経由高鍋駅までお越し下さい。バス乗車のための集合場所は、J R 高鍋駅前ロータリー（下記地図参照）です。宮崎空港及び宮崎駅発高鍋行きの時刻につきましては、本数があまりありませんので、下記電車時刻表を参考にお越し下さい。なお、この時刻は 11 月末現在の時刻ですので、研修会当日は時刻変更があるかもしれませんので、各自電車の発車時刻をお確かめの上、高鍋駅に 12 時 00 分までに到着されるようお越し下さい。借り上げバスの集合は 12 時 05 分、高鍋駅発車時刻は 12 時 10 分です。なお、高鍋駅出口から徒歩約 2 分のところにラーメン屋さん（味正）とデイリーヤマザキがありますので、昼食はここか、空港又は宮崎駅付近にて各自お済ませください。



宮崎空港駅発高鍋駅行き電車時刻表

宮崎空港発	宮崎駅発	高鍋駅着	備考
10:20	10:31	10:50	特急にちりん10号
10:36	10:58	11:25	普通
11:26	11:36	11:59	特急にちりん12号

#### 2) 公用車、自家用車等を利用して来場される方は、宮崎県農業大学校 HP の下記 URL

<http://www.majc.pref.miyazaki.lg.jp/guide/access/>または下記地図を参考に来場してください。

駐車場あり。



一般道路利用；宮崎県農業大学校農業総合研修センターは、国道 10 号線沿いにあります。宮崎市内から来られる方は国道 10 号線を約 2.7 km 延岡方面に北上し、国光原（こっこうばる）中学校入り口信号を右折してお越し下さい。延岡方面から来られる方は国道 10 号線を宮崎方面に約 5.8 km 南下し国光原（こっこうばる）中学校入り口信号を左折してお越し下さい。左手が会場入口付近です。左図を目安にご来場下さい。研修センターには駐車場がございますのでご利用ください。研修会場住所・電話番号 〒884-0005 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田 732 電話；0983-23-7447



高速道路利用；東九州自動車道の高鍋インターチェンジで降りて料金所を通過したら直進し県道19号線の2つめの信号を左折して県道302号線に入り、道なりに進んで、高鍋町俵橋交差点を左折して国道10号線に入り延岡方面に北上し、国光原（こっこうばる）中学校入り口信号を右折しておこし下さい。左手が会場入口付近です。左図を目安にご来場下さい。研修センターには駐車場がございますのでご利用ください。

〒884-0005  
宮崎県児湯郡高鍋町大字持田 732  
電話；0983-23-7447

4) 注意事項

会場への飲食物の持ち込みは堅く禁じられておりますので、昼食はバス乗車前にお済ませ下さいますようお願い申し上げます。

2 現地調査実演圃場への移動方法

エンバク不耕起播種実演圃場へは、参加者全員事務局が用意した借上げバスで移動します。現地圃場附近には駐車可能な場所が無いので、自家用車等での移動は御遠慮下さい。なお、現地圃場に出発するときのバス乗り場は宮崎県立農業大学校農業総合研修センター駐車場です。集合時間は、15時40分、出発時間は15時45分です。事務局がご案内いたします。乗り遅れないようご集合下さい。

3 帰りの移動方法

現地調査が終了したら、事務局が用意した借上げバスで、1台は会場まで、1台はJR高鍋駅まで参ります。

現地調査は、16時50分に終了し、会場行きとJR高鍋駅行きに分かれて出発いたします。JR高鍋駅までは現地から約20分の行程を見込んでおります。参考としまして、JR高鍋駅発、宮崎駅及び宮崎ブーゲンビリア空港行きの電車時刻は下記のとおりです。

移動方法の選択につきましては別紙1の現地検討会参加申込書の用紙にご記入ください。

高鍋駅発宮崎空港行き電車時刻表

高鍋駅発	宮崎駅発	宮崎空港着	備考
17:34	18:10	18:22	普通
18:01	18:31	18:54	普通
18:13	18:36	18:46	特急にちりん17号